

# 第68回 芳賀町成人式



1月9日(日) 町民会館で、成人式が行われました。今年の新成人は、平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれの163人です。  
芳賀町の新成人が、大人としての第一歩を踏み出す新たな門出の一日となりました。新成人の皆さん、おめでとうございます。

## 謝辞



新成人代表  
山田 頼雅

本日、私たちが新成人としての第一歩を踏み出すに当たり、このような盛大な式典を開催いただき、誠にありがとうございます。成人者を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

私たちが成人式という人生の節目を迎えられたのも、ここまで育ててくれた両親、苦楽を共にした友人、お世話になった先生方、また様々な形で私たちを支えて下さった地域の皆様のおかげです。深く感謝申し上げます。

私たちは現在、職業に従事している者もいれば、学業に励んでいる者もいます。それぞれの道に歩み出しましたが、新型コロナウイルスの影響で、日々制限された生活を送り、先の見えないもどかしさや不安を感じながら過ごして参りました。今まで当たり前前にできていたことができなくなる不便さを感じ、それまでの何気ない日常がいかに尊いものであるかを実感しました。人と人のつながりが減り、家族や仲間との絆の大切さに改めて気付きました。生活においてもオンラインでの仕事や授業が増え新しいスタイルができました。この先の情報社会を担っていく私たちは、自分自身で考え、判断し、行動していかなければなりません。

成人としての決意を心に刻み、現在のような厳しい社会であっても振り落とされぬよう強く勇ましく、一步一步強く踏みしめしっかりと歩いていきたいと思えます。今後とも皆様には、温かい目でご指導ご鞭撻をいただけますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、今日というこの日を新たな出発点とし、生まれ育った芳賀町へ恩返ししていくとともに、努力を忘れずこれからの人生を歩んでいきたいと思えます。

## 20歳の主張



新成人代表  
齋藤 諒平

今回、成人という人生の節目を迎えることができ、大変うれしく思います。こうして、無事に成人を迎えることができたのは、ともに学び、遊び合った友人、お世話になった先生方、幼いころから支えてくださった地域の皆様、自分に関わった多くの方々のおかげです。特に、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。20年間、愛情を注ぎ育て、進路実現のために協力してくれた家族にたくさんの恩返しをしたいです。

現在、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせ、社会の状況は刻々と変化しています。感染拡大防止のために、新しい生活・仕事のスタイルとなり、当たり前だった生活にとっても価値を感じます。このような社会となった今、周りの人たちと支え合うこと、相手を思いやること、理解することの重要性を実感しています。これから、未知の未来では新型コロナウイルス感染症のように何が起こるか、どのように生活が変化するのか予測することはできません。そのような未来を担っていくのは私たちです。新たな社会の一員として自らを律し、責任のある行動をとらなければいけません。二十歳という節目を迎えた今、今後の自分の将来について、どのように生きていくのか、どのように社会貢献していくのか、考えていきたいと思えます。

最後に、多くの方々に感謝しながら、成人としての自覚を忘れず、目標に向かって一歩ずつ歩いていこうと思えます。

## 新成人 20歳の思い



野澤 弥夕

成人式という大きな節目を迎えることができ大変うれしく思います。

このような状況のなか、成人式を催していただき本当にありがとうございます。今日までの20年間、たくさんの出会いがあり、いろいろな経験をさせていただき改めて、恵まれた環境で生活できていたのだと実感しております。時には、大きな壁や困難に直面することもありましたが、家族や友達、先生等、たくさんの方々が支えてくれたので、ここまで成長することができたと思っています。特に家族には、私にとって心の支えになり、辛いことも嬉しいことも一緒に乗り越えてくれたので、いろいろなことを経験させてもらう一歩を踏み出すことができました。これまで私を支えてくれた方々にとても感謝しています。そして、たくさんの迷惑もかけてしまったので、これからはいろいろな形で恩返ししていきたいと思えます。

近年、新型コロナウイルスの影響で医療崩壊や看護師不足が話題となっています。私は今看護師になるために勉強中なので、早く医療の現場に出て活躍出来るよう、日々精進してまいります。



水沼 隆太

成人という人生の大きな節目を迎えることができ、大変うれしく思います。

常に一番近くで支えてくれた家族、時に厳しく、時にやさしく指導していただいた先生方、常に私たちを見守ってくださった地域の方々々に心よりお礼申し上げます。

私は、大学進学のため生活の場を福島に移しました。生活の中での新たな発見や経験をする一方で、これまでとは違った土地、新たに出会う人々、大学での勉強への不安、親しい友人がいないことの寂しさを感じることもありました。しかし、自分の夢の実現のため懸命に学び、新たな地でも多くの友人や頼れる人ができました。

現在は新型コロナウイルスにより、家族や友人にも会うことが難しくなっています。生活や働き方のスタイルが変わり、私たちにも現状に適した変化が求められています。先行きの見えない難しい時代において、移り変わる価値観や求められる能力の変化に敏感に、自分をアップデートできるよう日々精進していきます。



船生 萌

成人式という大きな節目を大好きな故郷である芳賀町で迎えることができ、とても嬉しく思います。開催に当たりましてお世話になりました方々に心よりお礼申し上げます。

生まれてから大学生になるまでこの芳賀町で生きてきて、これまでの二十年間を振り返ると芳賀町の温かさというものを身に染みて感じました。登校時には「いってらっしゃい」、下校時には「おかえりなさい」と声をかけてくださる地域の方々。厳しくも私たちのことを一番に考えた指導をくださった先生方。そして深い愛情を持って育ててくれた両親。こんなに豊かな町で大切な友人との時間を共にできたこと、全てに感謝の気持ちを忘れずにいたいと思えます。

新型コロナウイルスの感染拡大で気も休まらない今日まだまだ収束の目途はつきませんが、感染症にも負けにくい、温かく明るい芳賀町の発展に貢献できる社会人を目指しこれからも精進してまいります。



特集 ①  
特集 ②  
特集 ③  
特集 ④  
特集 ⑤  
特集 ⑥